

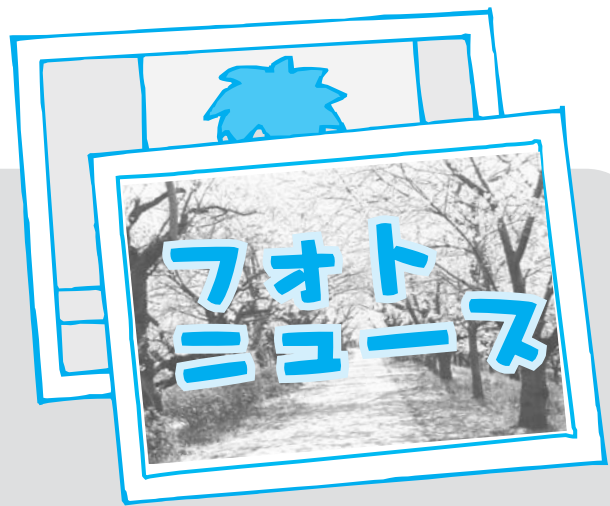


子ども会議

2月3日(火)市役所で「子ども会議」が開催されました。

市内小学校10校の代表児童20人が参加し、緊張した面持ちで、市に対する要望や意見を立派に発表していました。

子どもたちの要望や意見は、今後の市政運営に役立てられます。



世界を歌って踊ろう

2月1日(日)北公民館で、幸手市国際交流協会が主催する世界各地の歌と踊りを楽しむイベントが行われました。ケーナ演奏をはじめ、中国舞踊、マレーシア舞踊などの踊りや、韓国語教室の合唱などで、会場を異国の地にいざない、たくさんの拍手がわき起こっていました。

交通事故ゼロ校表彰式

2月10日(火)市役所で「交通事故ゼロ校表彰式」が行われました。今回表彰されたのは、権現堂川小学校、吉田小学校、八代小学校、行幸小学校、長倉小学校、香日向小学校、さかえ小学校の7校。

これからも交通ルールを守り、交通安全を心がけましょう。



若草俳句会

「ふゆの日・柚子湯」

繕ひの

手にやはらかき冬日和

大野房野・西一

こもごもに

昭和を語る冬至の湯

進藤洋二郎・緑台一

冬至湯の

匂い残れる髪を梳く

槇島弘子・中四

老いどちの

柚子湯に浮きし顔菩薩

高柳翠峯・中三

身の程の

幸せ知るや柚子の風呂

大熊三郎・北三

さって川柳会

生き方の

違いがわかる同窓会

長瀬光江・杉戸町

米寿にて

火災報知機取り付ける

中村文造・千塚





生き生き「縦割り活動」

さくら小学校

本校は、開校4年目と新しい学校ですが、児童数567名が集う活気ある学校です。

開校以来、重視してきたものに「縦割り活動」があります。最近の子どもたちは、人間関係をつくるのが苦手と言われています。そこで、1年生から6年生まで学年に関係なく、縦割り班を36班つくり、さまざまな活動を行っています。

その中でも一番大きな行事「さくら小フェスティバル」では、高学年の児童が低学年の児童をリードし、手本を示したり、声をかけたりしながら計画・準備をしました。当日は、迷路や人間すごろくなど36のコーナーを班員みんなで力を合わせて運営し、学年を問わず交流し合える、良き場となっていました。

また、通常の昼休みより20分長いロング昼休みには、年5回、縦割り班での遊び集会を行っています。班ごとに遊びの計画を立て、仲よく楽しく遊んでおり、学年を越えた子どもたちのつながりが強くなってきました。

今後も、生き生きと魅力あるさくら小学校をめざし、さまざまな教育活動に取り組んでいきます。



▲学年を問わず交流できる
「さくら小フェスティバル」



和楽器体験学習会(幸手小学校)

1月30日(金)幸手小学校で「和楽器体験学習会」が開催されました。地域の方を指導者に招き、尺八と琴の体験をしました。児童たちは、日ごろ触れる機会の少ない和楽器に興味津々の様子で、熱心に練習していました。



彩の国21世紀郷土かるた大会幸手市大会

1月25日(日)北公民館で「彩の国21世紀郷土かるた大会幸手市大会」が行われました。出場した選手たちは、読み手の声にすばやく反応し、熱戦を繰り広げていました。

減食をしても
目方に変りなし

井上 薫・東二

母さんの

賤布を開く旅土産

高島一嘉・中一

燎原短歌会

久びさに

訪ふ故郷の奥津城は

公孫樹黄葉の

黄に散り敷けり

喜多村和子・中五

九人の

孫にかこまれ傘寿祝う

幼き姿

睨にうかぶ

石井和江・南二

朝夕の

心の動き測るかに

血圧計の

数値はゆるる

堀山徳子・中四

凛として

導き給う歌の道

師のすこやかな

卒寿を祝う

桑島正江・東四

枯色の河原を

チチと遊びいる

あまたの雀

春を待つらし

澤田俊子・緑台一